

校報かめのこ

福生六小ホームページ <https://fussa-6e.hs.fussa.school/>

- 考える子
- めげない子
- の 伸びる子
- こ 心豊かな子

想像と協力の秋へ



福生市立福生第六小学校

校長 富永 大優

朝晩に吹く秋の風が心地よく感じられる季節となりました。校庭の木々も少しづつ色づき始め、子どもたちの元気な声が澄んだ空に響いています。

10月は、運動会や校外学習など、仲間と協力して取り組む行事が多く、子どもたちの成長が大きく感じられる月です。学校が目指す「一人でもできる子、みんなともできる子」の実現に向けて、個の力を伸ばすとともに、集団の中で互いに認め合い、支え合う経験を積ませていきたいと思っています。運動会では、自分の力を出し切ることはもちろん、仲間と声を掛け合い、励まし合える経験。そして、校外学習では、自然や社会に触れながら、自分で考えて行動する経験をしてほしいです。どの活動でも、子どもたちが「一人でも」「みんなとも」できる力を実感する貴重な機会となるよう指導にあたってまいります。

また、読書の秋でもあります。本を通して広がる世界は、子どもたちの想像力や思考力を育みます。ぜひ御家庭でも、読書の時間を大切にしていただければと思います。国語の授業では、「筆者との対話」ということが言われます。本を読みながら、「なぜだろう」「どうしてだろう」などの疑問をもち、そのヒントや答えを筆者が書いた文章から読み取り、理解していく過程が、まるで対話のようであることからそう言われます。ワクワクドキドキしながら本を読むとき、想像力や思考力を働かせながら筆者と対話をしているのだと思います。ぜひ、この秋に多くの本を手に取り、想像を広げながら読書を楽しんでくれればと思います。

末尾になりましたが、季節の移ろいとともに、子どもたちの心も大きく成長していく時期です。学校と家庭が手を取り合いながら、一人ひとりの成長を温かく見守っていくことが大切です。今月もどうぞよろしくお願ひいたします。